

法人名 (公社)山梨県農業用廃プラスチック処理センター

公益法人用

【法人の概要】

代表者名	廣瀬 久信	所管部(局)課	農政部果樹食品流通課		
所在地	南アルプス市高田新田字川東33の1	電話番号	055-284-0938		
ホームページURL		E-mail アドレス	haipura@alpha.ocn.ne.jp		
資本金(基本財産)	31,305 千円	設立年月日	昭和51年11月1日		
主な出資者	出資順位	出資者名等	出資額		出資比率
	1	山梨県	15,000	千円	47.9 %
	2	市町村(14)	11,796	千円	37.7 %
	3	全国農業協同組合連合会山梨県本部	1,630	千円	5.2 %
	4	山梨県信用農業協同組合連合会	435	千円	1.4 %
	5	全国共済農業協同組合連合会山梨県本部	435	千円	1.4 %
	6	特別基金	2,009	千円	6.4 %
	7			千円	0.0 %
	8			千円	0.0 %
	9			千円	0.0 %
	10			千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)		千円	0.0 %
	その他			千円	0.0 %
		合計	31,305	千円	100.0 %
設立目的経緯概況等	昭和49年に農業用廃プラスチック処理の株式会社として県も出資して設立したが、昭和51年8月に会社は解散。昭和51年11月に財産を引き継いで社団法人として設立、その後、平成25年4月1日に公益社団法人に移行した。				

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H24年度	H25年度	H26年度
事業1	農業用廃プラスチックの収集・処理	31,359	31,597	31,532
事業2				
事業3				

【組織】

年度	平成25年度					平成26年度					平成27年度								
	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他				
4月1日現在の人員																			
役員	理事(常勤)	1			1	1			1	11	1			1	11				
	理事(非常勤)	14		3		14		3			14		3						
	監事(常勤)	0				0					0								
	監事(非常勤)	2				2				2	2				2				
	評議員	0				0					0								
	計	17	0	0	3	1	13	17	0	0	3	1	13	17	0	0	3	1	13
職員	管理職	1				1				1	1				1				
	一般職員	1	1			1	1				1	1							
	臨時職員	1	/	/		1	/	/		1	1	/	/		1				
	非常勤職員	0	/	/		0	/	/			0	/	/						
	計	3	1	0	0	0	2	3	1	0	0	0	2	3	1	0	0	0	2
プロパー職員の年齢構成(H27.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収								
	男性					1		1	役員	※	(千円)								
	女性							0	常勤	※	※								
	合計	0	0	0	0	1	0	1	職員	※	(千円)								

※常勤役員、常勤職員は各1名のため個人情報保護の観点から、非公表

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
正味財産の状況	基本財産運用益	8	7	7	0
	受取会費・受取寄付金	3,388	6,380	6,272	△ 108
	受託事業収益	0	0	0	0
	自主事業収益	27,285	25,285	25,304	19
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	84	100	23	△ 77
	経常収入 計	30,765	31,772	31,606	△ 166
	事業費	17,270	25,545	25,460	△ 85
	うち人件費	8,942	11,733	11,808	75
	管理費	14,089	6,052	6,072	20
	うち人件費	5,445	1,898	1,900	2
	経常支出 計	31,359	31,597	31,532	△ 65
	当期経常増減額	△ 594	174	74	△ 100
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	6	0	0	0
	当期経常外増減額	△ 6	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 600	174	74	△ 100
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	50,143	50,317	50,390	73	

(単位:千円)

項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
財務状況	流動資産	4,446	6,764	6,466	△ 298
	固定資産	50,156	50,335	50,330	△ 5
	資産 計	54,602	57,099	56,796	△ 303
	流動負債	2,274	4,265	3,522	△ 743
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	2,184	2,517	2,884	367
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	4,458	6,782	6,406	△ 376
	正味財産	50,144	50,317	50,390	73
	うち基本財産への充当額	16,305	16,305	16,305	0
うち特定資産への充当額	9,977	12,293	14,191	1,898	

(単位:千円)

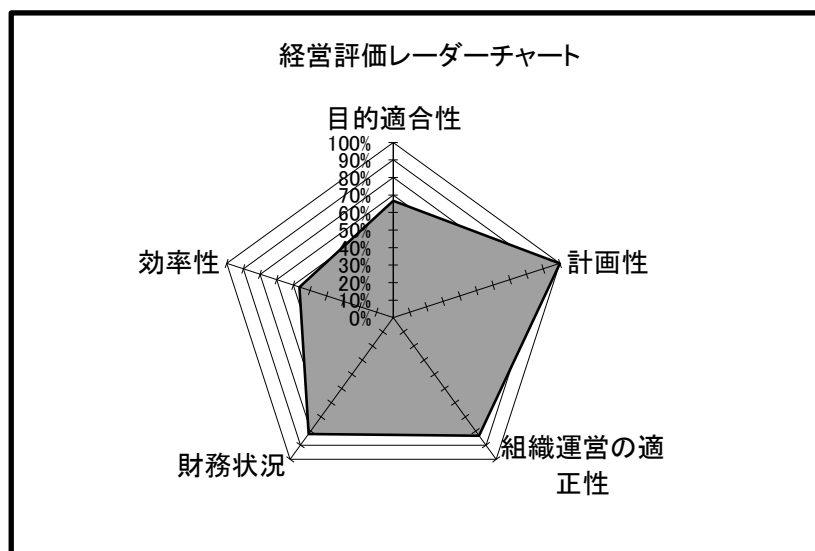
項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
県の財政的関与の状況	負担金		1,595	1,568	△ 27
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	0	1,595	1,568	△ 27
	県の財政的関与の割合(%)	0.0	5.0	5.0	0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	県、市町村、農協、農家が管理費を均等(1/4)に負担 (H26県負担金 1,568千円)
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	8	66.7%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	10	83.3%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	46	82.1%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	4	16	9	56.3%
合計		20	108	85	78.7%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県内の農業生産現場から排出される農業用廃プラスチックを適正に処理するという目的に適合した業務を行っている。
計画性	定款・業務方法書により計画的に運営している。また、平成25年度に経営計画を改定した。
組織運営の適正性	現在の業務方法書において、組織運営上、最少人数で運営している。また、情報公開も行っており透明性の確保に努めている。
財務状況	分別の徹底による有価取引量を拡大するとともに、最終処分量の削減に努め、経費削減に取り組んでいる。
効率性	平成20年度より現場作業員を2名削減、21年度より更に1名、22年度に更に1名削減している。また、収集業務を廃止するとともに、最終処分物も三種類に分別し、それぞれの価格設定により大幅な処理コスト低減を図っている。
総合的評価	有価物取引の導入、最終処分物の細分化への取り組み等、処理方策の改善により事業費総額の削減に努めている。



対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用廃プラスチックの加工処理に係る施設、設備の更新を行わない。 ・取引業者との連携を強化し、分別の徹底により有価物としての取引を進め、最終処分に係る処理経費の削減への取組を更に強化する。 ・中長期的な経営の合理化を図るため、平成25年度に改定した経営計画を着実に実施していく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	農業用廃プラスチックを適正に処理し、自然的、社会的公害の未然防止を図っており、設立目的及び公益目的に適合している。
計画性	「山梨県農業用廃プラスチック処理センター経営計画」及び「年度事業計画」等に基づき、経営改善に向けた具体的な改善策を講じている。
組織運営の適正性	引き続き、内部管理体制の適切な運用と、組織の透明性の確保に努めること。
財務状況	引き続き、中長期的視野にたつて、排出者である農家負担の見直しや適正な処理料金の設定を検討すること。
効率性	引き続き経営改善を進め、効率的な経営に努めること。
総合的評価	現行の運営体制は簡素化が進んでいるが、農業用廃プラスチックのより低コストで効率的な処理を一層推進するため、平成25年度に改定した経営計画に基づき、引き続き、経営改善を進め、効率的な経営に努めること。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>A</p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%; background-color: #f0f0f0;"> <p>B</p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>C</p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>D</p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
	<p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県下の農業生産現場から排出される廃プラスチックを回収・処理しているが、良質なものは分別して有価販売を行うとともに、資源リサイクルにも貢献している。 ・ 平成26年度は、わずかながら黒字決算となり、流動比率等の評価が改善した一方、廃プラスチックの搬入量・処理量の減少などに伴い効率性の評価が下がっている。 ・ 搬入量等の減少に伴う自主事業収益の減少や処理量に占める有価販売割合も減少していることから、経営計画に基づき搬入量の維持や処分経費の節減に取り組むことが求められる。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度に改定した経営計画に基づき、引き続き、農業用廃プラスチックの分別を徹底し、有価販売に努めるとともに、経費の削減や安定的な運営経費の確保等に努めていく。 ・ 時期により搬入量が増減したり、農家数が増えない中、今後も県、市町村、農業団体等の広報媒体を活用しての廃プラスチックの回収、適正処理について普及啓蒙活動に取り組んでいく。
